Vol. 34 No. 9751 Thursday June 1 1939 TAIRIKU NIPPO 昭和十四年六月一日（木曜日）第九千七百五十一號

# 大陸日報

TAIRIKU NIPPO
THE CONTINENTAL DAILY NEWS
PUBLISHED BY
TAIRIKU NIPPO SHA, LTD.
213 & 215 E. CORDOVA ST.
VANCOUVER, B. C.

本紙定價（前金）
六ヶ月 四弗拾五仙
三ヶ月 二弗拾五仙
一ヶ月 一弗拾五仙
發行所 大陸日報社
電話 シーモア八〇二五
晚香坂市東ハイ街二一五
電ツリニテ五五三三

紙はり
バウ 電話ジョージア一〇二八九エル 小林（經明）（晉持）

タキシーは ヤマへ 電話 シーモア 一一一一

富士美容院 矢部しげ子 電話ハイランド四九一八

公認ス 美粧院 北野喜美江 電話シーモア一〇八五五 自宅ハイ一〇三三エム

モーラー英容 高等検出身 電話シーモア一〇二八九エル 小林（經明）（晉持）

晚市西第五街二五二七 グランビルより半ブロック西 サンビューテーバーラー ビーシー州公認美容師 池田照子 電話ベンビュー八七五〇アール

日本人總代理 矢田源一郎 電話ツリニチ五一〇一＝五一〇二 住宅ハイランド三三二七

## 獨伊同盟への我が對處策
## 三相の意向大體一致
### 重要協議あす五相會議開催

左から上は眞崎、相澤、板垣、相馬、米内、畑海相

東京一日】政府は去る廿日の五相會議で歐洲情勢に對處する帝國政府の根本方針に關し意見の一致を見その後獨伊間に親善同盟協定の締結を見たので更に之に即應すべき方策に就き平沼首相並びに陸海兩相間に協議を進め之と並行して陸海軍兩當局間に於いても種々檢討を重ねつゝあつたが關係當局間の意向が大體一致を見るに至つたので特別の支障なき限り二日五相會議を開き右に關し重要會議を遂げる模樣である

## スロバキア國の獨立を承認!!
### 外相・正式に通告

【ワシントン卅一日】米國政府は最近頻りに海軍根據地の防備强化に腐心しつゝあるがルーズベルト大統領は卅一日大統領令を以て布哇の眞珠灣軍港附近に防衛界域を設置し米國公船並びに特に海軍長官より許可を受けたもの以外一切の船舶及び個人の右水域立入りを禁止した

### 眞珠灣軍港に防禦界域を設置

【東京一日】帝國政府は卅一日午前枢相官邸に於ける五相會議にてスロバキア國の獨立承認を決定、上奏御裁可を經、一日午前有田外相は同國政府に對し書翰を以て右の旨を正式に通告した、尚は滿洲國政府に於いてもスロバキア國を正式承認の方針で目下その手續を進めて居り右の結果スロバキア國承認國はドイツ、ポーランド、ハンガリー、日本、滿洲國の五ケ國となる譯である

### 河相部長談

【東京一日】スロバキア國の承認に關し外務省では一日次の如き情報部長談を發表して帝國の態度を表明した

◇

帝國政府は去る十五日スロバキア國の獨立を宣言するに至つた事態の推移に對し深甚の關心を以て注視して來たのであるが今般スロバキア國が帝國政府の根本方針に則り獨伊兩國と緊密なる關係に入つたことは眞に慶賀に堪へない

◇

【ロンドン卅一日】ソ聯政府の公人民委員は卅一日ソ聯最高會議に於ける外相演説に不滿の意を表明し英佛同盟案に對し嚴しき批判を加へ英佛ソ三國間の交渉は遅々として進まず英國政府は卅一日ソ聯政府に對し英佛ソ同盟案に對する回答を發表したが英佛ソ交渉は暗礁に乘り上げた

## ソ聯・英提案を一蹴
### 英の面目丸潰れ
### 英ソ交渉・暗の一路

【ロンドン卅一日】ソ聯政府の公人民委員は卅一日ソ聯最高會議に於ける外相演説に不滿の意を表明し英佛同盟案に對し嚴しき批判を加へ英佛ソ三國間の交渉は遅々として進まず英國政府は卅一日ソ聯政府に對し英佛ソ同盟案に對する回答を發表したが英佛ソ交渉は暗礁に乘り上げた

## 厦門租界の改組問題
### 英米佛側と和かな懇談裡に
### けふ第二次領事團會議

【廈門一日】一日のコロンス工部局並びに各國領事團會議に於いては滿洲國政府の廈門租界改組に關する提案に對し英米佛側は一應本國政府に請訓することゝなり一日午後三時より二回に亘り會議を開いたが英米佛側も本問題に對する我方の公正なる態度を了解し且つ英米佛・オランダ各國領事團會議は一日午前十

# 戰時の軍神　西住戰車長傳

（十二）

菊池寛　作

その生立と家庭（六）

西住大尉の生家に就いて語るには、甲佐町の概略をお話ししなければならない。

此の家も、その家名を明かにしないが、その家名を大声で呼ばれ、甲佐町第一の資産家として、甲佐町の文化の源泉、殊に公的事業の中心であり、従つて、町全體の尊敬を集めてゐるものなのである。

その領袖は次の通りである。

殊に、代議士であつた故人は勿論の事、弟の弘氏、明治二十七年九月九日、甲佐町の名門に、町の青少年を集めて、修養團體として、興會なるものを作つた。

武藏と共に堅つて國體に殉ずる。

道義を重んじ努めて省行矢張くす。

倒れても尚ほ立つ精神を養ひ、ひしめいて行くのである。

我が東北でも農村更生の聲が高く叫ばれ、聯盟本部は中央にあり、各縣に支部、各郡に分會、各町村に指導部、各部落に實行班が置かれ、各自實踐網が定められて居り、組織の徹底と、農村振興運動に邁進するの外に、非常時下農民の本分を發揮することになつてゐる。

……×　×……

興國會は、聯盟の實踐團體として、各村落に一人一會を原則として居るが、わたくしに與へられた使命は、組合は、組織、指導、超越人物等の講演料を納付すれば、何處の講師をも招聘することが出來るのである

# 南昌戰にあゝ陸戰隊の花

## 動かぬ手に最後の一發

### 出征兩全・これぞ武人の典型

### 星一等兵曹の最期

（上海電）その出征武士は遂に一發すら撃ち得ずして今次事變初期の激戰のページを新たにする英雄を生み出したわが上海特別陸戰隊きつての一つ星の誉れ高き星一等兵曹（筆者註＝階級名は當時のまゝ）の最期である、星兵曹は昭和十四年三月二十三日、勇猛上海陸戰隊の精鋭に囲まれた中山部隊長を陣頭に敵が最後の抵抗をこゝろみた一線陣地に突進した、一秒も絶えず助けくるうなつゝける敵機關銃の十數挺、戰場は忽ちなる修羅のやうなどさくさのうちに負傷されてしまつた第二〇陸戰隊中隊は陣地占領に一時は陣形にかゝつて後退かけるも、部下の行動に氣がかりな星兵曹がいくれとせどこれにつゞいた、「君をつれて後退が出來ない」と絶叫して、星兵曹は敵中に別れてゐる」とは何度もひふるされたことだが、この言葉がいつまでたつても現實の迫力を失はぬから困る

▽……

河畔に井出屋をそびえたせてゐるブロードツー・マンションは最近續々が日本人の手にうつつて日章旗と五色旗がひるがへつてゐる、もしこの何軒かの窓から、ガーデン・ブリッジを眼下に「河向う」を見渡せば、橋詰には緑の庭園を持つた英國總領事館の前に若い女の門掛のやうに派手な菲縞のスカートをはいたスコットランド兵の姿が、それこそ玩具のやうに立つてゐるだらうし、バンドの廣い舗道に立並んだ白堊の建物の上には名も知らぬ國々までの旗を加へた萬國旗の並木が旅情を感めるに足る瀟洒な風景のなかに浮んでゐることだらう、これが「上海の秘密室」――即ち英佛露伊獨蘇城の表玄關だ、さう思へばぴきつく五月の太陽にヤラノーと油のやうに光る蘇州河の濁つた水も、その秘密室の「お堀」にふさはしいではないか！

▽……

五月に入つて有田外相が上海和界に對する日本の強硬方針を明かにしてから三浦總領事は工部局、英國總領事館、フランス總領事館（日露した「亜慶側の國民精神運動禁止」「抗日新聞雑誌の取締」「青天白日旗掲揚禁止」等々から「工部局の全面的改革」の申入れまで進んだ、英國の勢力はかなりゆすぶられてゐる、街頭には日本陸海軍の租界間題不大聲明の號外がとんで「秘密室」をおびやかす、しかしなほ青天白日旗は租界の毒月（支那では國恥記念日の多い五月をかう呼ぶ）空に毒々しくひるがへつてゐるのだ

▽……

一體租界を守るものは誰だ？と訊ねて見給へ、それこそ忽ち六尺豊な大兵の胸を張り腰に重々しいピストルをぶらさげた工部局の巡察がゾロ〳〵と現れるに相違ない、かれらは支那人の四千五百人を初め白人、インド人ら合せて五千人もゐるから數だけではたしかに租界を「守つてゐる」、だがなんと、その姿の扇記のないよ、かれらは何をしてゐるのか？もし寫眞のやうに居眠りでもしてゐなかつたら、商店の飾窓をのぞき込んでられた區役所樓上に既に廿數人も、ホイガ栗頭と血書志願と籤外志願とに時局に奮ひ立つ壯丁の頼もしい決心を物語つてゐた

（上海通信）「河向う」の北四川路、蘇州河を「三途の川」と稱するのは、決して日本側が拔手をすれば生きては歸さないといふのだ、だがそれはそれだけの意味ではすまなかつた、もし日本人がガーデン・ブリッジを渡つて河向う（踏み込んだが最後、生命の危險に曝かされるとしたら、こちからいつても「蘇州河」は三途の川だといふことになる「上海が蘇州河によつて真二つに別れてゐる」とは何度もひふるされたことだが、この言葉がいつまでたつても現實の迫力を失はぬから困る

▽……

河畔に井出屋をそびえたせてゐるブロードツー・マンションは最近續々が日本人の手にうつつて日章旗と五色旗がひるがへつてゐる、もしこの何軒かの窓から、ガーデン・ブリッジを渡つて河向う（踏み込んだが最後、生命の危險に曝かされるとしたら、こちからいつても「蘇州河」は三途の川だといふことになる「上海が蘇州河によつて真二つに別れてゐる」とは何度もひふるされたことだが、この言葉がいつまでたつても現實の迫力を失はぬから困る

▽……

# 上海の秘密室

―（上）―

## 蘇州河は『三途の川』

### 上海を二分するこの橋上に

### 後を下す工部局巡警

（東京通信）みどりの朝風に徴兵署の大國旗がハタ〳〵と鳴る青葉かをる五月一日を期して聖戰下二度目の徴兵檢査が全國一齊に開始された、戰時日本第一線の護りを目指す若人達は「若き日本」を象徴するたくましい筋肉のもり上りを長期戰の

## 覺悟

にいよ〳〵張り切らせ、早朝六時を期して町の村の徴兵所へと押寄せた帝都では本郷、麻布兩聯隊區中淺草、神田の兩區がまづその皮切り――

ほとんど商店關係の壯丁ばかりで朝寢坊ぞろひの淺草つ子たちもこの朝ばかりはたいした早起きで五時近くには徴兵署と定められた區役所樓上に既に廿數人集まつてをり定刻六時の集合には一人の遲刻者もないといふハリキリ方である

「トンボみたいにあたまはかうテカ〳〵と」

## 當時

の司令官行德大佐を嘆かせた昨年の例にならつてことしもまたこのトンボのあたま組を捕まへべく淺草軍人會から入名のバリカン部隊が出動して鶴の目鷹の目で採し廻つてゐたが、オールイガ栗頭の壯丁連に「俺たち興亞の壯丁を侮辱するな！」とひと睨みされて退散「一丈ちかく書き綴つた血書の志願や籤外志願がありたあつたが戰時壯丁がこゝまで緊張して臭れるとは有難い……」と兩角司令官の嬉しさうな顔である

## 此日

の檢査は百十一名、七日日曜だけ休んで例年より一週間永く十五日まで毎日つゞけられる

麻布聯隊區の神田區役所、此もホイガ栗頭と血書志願と籤外志願とに時局に奮ひ立つ壯丁の頼もしい決心を物語つてゐた

‖寫眞は淺草區役所にて

## 踊る若き筋肉 全部イガ栗頭

### 聖戰下二度目の徴兵檢査

## 動かぬ手に最後の一發

### 出征兩全・これぞ武人の典型

### 星一等兵曹の最期

（上海電）その出征武士は遂に一發すら撃ち得ずして今次事變初期の激戰のページを新たにする英雄を生み出したわが上海特別陸戰隊きつての一つ星の誉れ高き星一等兵曹（筆者註＝階級名は當時のまゝ）の最期である、星兵曹は昭和十四年三月二十三日、勇猛上海陸戰隊の精鋭に囲まれた中山部隊長を陣頭に敵が最後の抵抗をこゝろみた一線陣地に突進した、一秒も絶えず助けくるうなつゝける敵機關銃の十數挺、戰場は忽ちなる修羅のやうなどさくさのうちに負傷されてしまつた第二〇陸戰隊中隊は陣地占領に一時は陣形にかゝつて後退かけるも、部下の行動に氣がかりな星兵曹がいくれとせどこれにつゞいた、「君をつれて後退が出來ない」と絶叫して、星兵曹は敵中に別れてゐる」とは何度もひふるされたことだが、この言葉がいつまでたつても現實の迫力を失はぬから困る

▽……

河畔に井出屋をそびえたせてゐるブロードツー・マンションは最近續々が日本人の手にうつつて日章旗と五色旗がひるがへつてゐる、もしこの何軒かの窓から、ガーデン・ブリッジを渡つて河向う（踏み込んだが最後、生命の危險に曝かされるとしたら、こちからいつても「蘇州河」は三途の川だといふことになる「上海が蘇州河によつて真二つに別れてゐる」とは何度もひふるされたことだが、この言葉がいつまでたつても現實の迫力を失はぬから困る

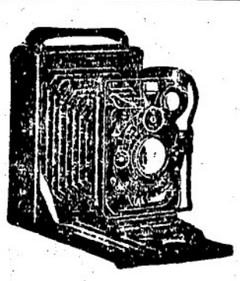
▽……


ニキビ、ソバカス
色黒の悩み解消
美白劑 ハクヒ（別名ハクリ）
強性
色を白くするハクヒ
の驚くべき効果！

山田博士は婦人科專門の立場と外科美容の立場から皮膚の美化法に就いて數年間苦心研究された結果「ハクヒ」といふ効力絶大な強性美白劑を創製されました
別名ハクリとは皮膚を剥離するといふ意味です
体質により皮膚に強弱がありますが使用後五日目位から細かいヌカの如く表皮がとれて新らしい綺麗な皮膚が現はれてきます、そして一瓶がなくなる頃には見違へるような美しいお顔になります
普通瓶 一、〇〇　德用瓶 二、二五
一週間で美しくなる……

讀賣新聞診療所長
婦人畫報美容顧問
山田病院長
山田博士創製

乳幼兒体質改善治療劑
芳香
甘味 慈童
二十日分 一、九〇
二ヶ月分 一、七五
愛は一つ、しかも尚
強い兒と弱い兒の差
この悲しむべき岐路こそは正しい小兒藥『慈童』
で守り育てるか否かによつて定るのです
慈童は病根に働いて弱つた細胞を賦活し、更生せしめて抗病素を養ひますのでグン〳〵自然癒能力は促進され、重病後の弱り切つた身体も速に立ち直るは本劑特異の藥効であります



フイルム
現像
焼付
引伸
晩市バウエル街三三一
新見商會
電話ツリニチ三一一二

# 日本着の少女隊
# 新西院で奉迎！
## フレザー・バレーの同胞
## 兩陸下へ歡呼の嵐

# 奉迎船に關して
# 陸下の御下問
## 何の魚を獲るか

# 日本人
# 農村の奉迎
## マッキ停車場

# 兩陸下に
# 日本人の苺
## 食膳に供す

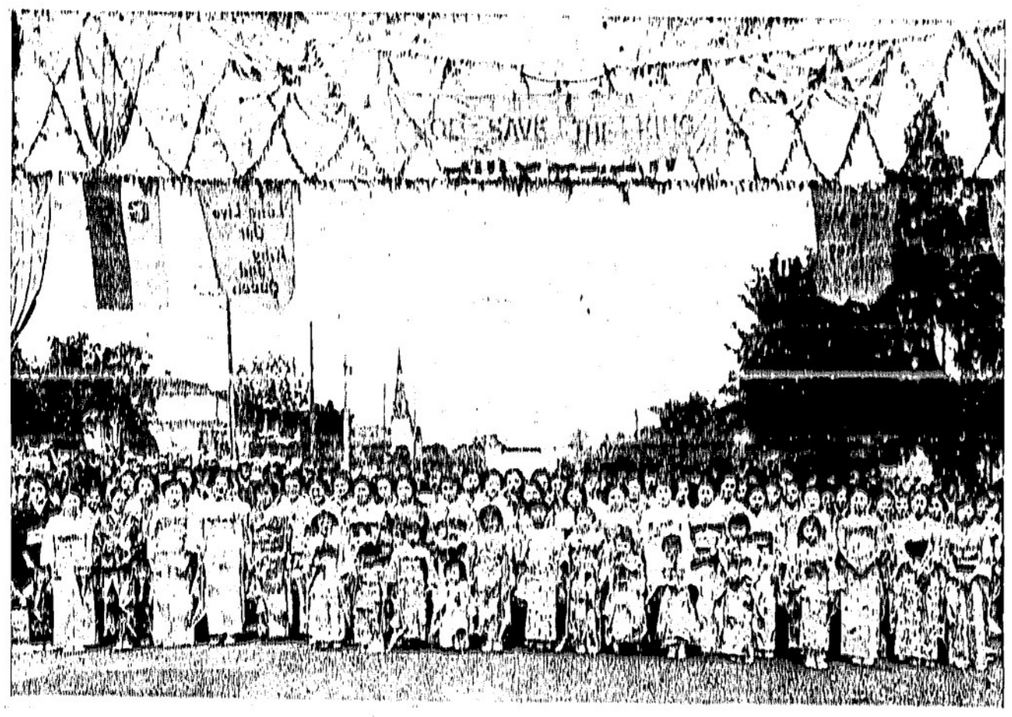
# 卅年前の今日
## 大陸日報より

# バラード野球

# キャピトルで
# 『日本』の映畫

## 日本人の堵列

# ハナシの種



新西院に於ける奉迎日本着少女隊と邦人奉迎門
——林上寫眞館撮影——

# 本紙特派員の
# 奉迎船・便乘記
## フレザー河口偉觀

# 南京行き
## 上海より　（一）

# 「米は米屋へ」

# ピアノ教授

# 御結婚式
# 日本振袖賃貸します

# 六月
# クリヤランスセール
## 特價提供
## ヤマト商會

# 日本行各汽船切符販賣
## 中山義一事務所

# 日本人
# 保險
## 信夫保險事務所

# 杉山運送舍

# 文化商會

# 香村商店

造船及修繕
日魯ディーゼルエンジン總代理
スタンレーパーク造船所

御料理
吉野

ピアノ教授
經驗は豊富教授は親切
トロント音樂學校

「米は米屋へ」
▲ハクマイ印　百斤入　五、七五
▲マル特印　同　五、四五
東（スタンレーパーク）
電話（イランド）〇八八九
現金で安く賣へる店

御結婚式御披露用日本振袖賃貸します
遠近に拘はらず出張いたします
長髪短髪
オイルパーマネントウエーヴ
チエリー美粧院

助産
電話シーモア五八四六アール
ケーファー街二二三
松岡久枝
電話バイランド二五九八エム
アベール街二二一五
高橋貴志子

四月廿二日に私は南京へ向つて出發した。上海は上海時間で日本時間より一時間遲れてゐるが、南京は日本時間で汽車の發着も勿論日本時間である。南京行き急行列車の九時半發は、上海時間で入時半だ。私の南京行きをした時は、朝八時半の普通と、九時半の急行の二回南京行き列車が出るだけで、從つて停車場は非常に混雜すると聞いてゐたので、私は朝六時頃起きて旅裝を整へ、タキシーで發車一時間半前に上海驛へ行つたのであつた。

◇

上海北站停車場附近は支那軍が最後まで頑張つた所で、附近の建物は勿論停車場の建築物も木葉微塵に破壞されてゐたのだが、一部は修繕したり、バラック建ながら新築したものもありどうやら停車場らしい設備は出來てゐる。驛前の大廣場には自動車やラック、人力車などが所狹しと詰めかけて居つた。

◇

私が驛に一時間半も前に行つた時、もう早や改札口は支那人男女で三通りにも四通りにも行列を作つて改札を待つてゐた。何處へ移動するのか大きな荷物を持つた支那人が、ガヤ〳〵と大聲で呶鳴り合ひながら、夫でも列は崩さないでゐたが、多數の日本人も交つてゐる。特に目立つのは日本着委美しい若い婦人連である。顏色が餘り勝れなさそうなので、傍の同胞に聞いて見ると、多くは蘇州、常州、無錫、丹陽、南京などへ行く例の皇軍慰問隊や女中、女給などとの事である。

◇

發車近くなると卅人許りの赤十字看護婦が一隊となつて乘込んで來た。普通廿三四歲の人が多いが、もう結婚して子供の二三人もありそうな看護婦も數名交つてゐるのを見て、御國の爲に家庭を忘れ、勇士の看護に一身を捧げるこの白衣の天使に私は頭が下がる思ひがした。また南京へ行く多數の兵隊も重い荷物を持つて多數乘込んで來た。

◇

上海・南京間、上海・杭州間の鐵道は四月卅日まで日本軍の經營であつたが、愈か五月一日から維新政府の手に移つた筈である。日本から機關車も列車も持つて來たので、軍用車、赤十字車、三等車、二等車と約十一輛連結されてゐるが、二等で急行券も入れて十一圓四十錢である。驛員も機關手も車掌も全部日本人で、日本から本職が來てゐるのだが、全部カーキー色の軍服である。

◇

漸く發車前十五分になつて改札されたが、私は重いスーツケースを提げて高い陸橋を渡つてから二等車に乘つたが、何分不案內なのと大混雜にまきれ、折角ホテルで作つて來た辨當を何處かへ忘れてしまひ、お茶を入れたビール瓶だけ大事に持つてゐたといふ赤毛布も演じた。

# 南京行き
## より　（二）

初夏の空は晴れ渡り、風綠香ふくんで吹くフレザー河に、ユニオン・ジャックに滿艦飾したステプストン日本人奉迎漁船隊百餘隻は隊列を整へ、昨日午後十二時過ぎより河口沖合に英國太平洋艦隊の御召艦を奉迎中止やむなく、エンジンのひゞきも快調に濁流を蹴つて河を下る、記者は加久藤丸に便乘、熱心なる邦人漁船隊の奉迎ぶりを觀察した

わい、逸ぐる日秩父宮同妃兩殿下奉迎に際し艤上よりステプストン漁船隊の熱誠なる奉迎ぶりを眼の前にし、この感しくも感激的シーンを體驗する事を無上の光榮とするものである

◇

昨日午後フレザー河口の日本人漁船隊の奉迎に就ては本日の當地英字紙も是を紹介し「フレザー河口に時ならぬ紅葉を展開した」と書いてゐる

◇

●忘れ物　一昨日出帆の引安丸

# 岩崎氏講演會
## 土曜夜日本人ホール

バンクーバー埠頭立語學校學友會では明晩香坡立語學校學友會では明後三日（土）午後八時から日本人ホールで先頃非常時局下緊張の日本及び復興途上の中支方面を

# 日支視察談
# 寶塚少女歌劇
## シアトル公演

既報の如く寶塚少女歌劇團は歸途シアトルに立寄り今月二十日の氷川丸で歸朝するが同地では六月十七、十八の兩日ミュジック・ホール劇場で公演することになつた由

# 兩陸下に
# 日本人の苺
## 食膳に供す

シアトル通信——英國兩陸下のビクトリア御訪問に當りワシントン州産苺を陸下御食膳に供したが右はベンブリッヂ島の苺農者藤島縣人小浦乙喜氏がクレート六哩で引受け大粒のみを摘み採つてボーデル商會に送り屆け同商會からビクトリアに送つた、小浦氏は「光榮の苺畑」に立つて感激してゐた

# 日本人
# 農村の奉迎
## マッキ停車場

新西院を昨日午後三時四十五分出發した御召列車はマッキ停車場に三分間停車、住居者の奉迎を受けられたが押寄せた群衆は一萬人、中にも日本人奉迎場ではマウント・リーマン地方日本人農家の設けた奉迎館が人目を惹いてゐた、日本人は手に手に英國旗や櫻花の造花をもつて兩陸下を親しくお迎へしお送りしたのであつた

# 卅年前の今日
## 大陸日報より

◇明治四十二年六月一日、太平洋航路船天洋丸は無線電信より得たるニュースを利用して新聞發行、定價一部十仙、日本船新聞の嚆矢と報じてゐる

# バラード野球

昨夕バウエル球場でメリット・ゴードンはバトリシアを四對〇で破つた

| | 勝敗 |
|---|---|
| 朝日 | 六　二 |
| メリット | 六　四 |
| バトリシア | 四　三 |
| ウエスタン | 〇　七 |

# 寶塚少女歌劇
## シアトル公演

既報の如く寶塚少女歌劇團は歸途シアトルに立寄り今月二十日の氷川丸で歸朝するが同地では六月十七、十八の兩日ミュジック・ホール劇場で公演することになつた由

# キャピトルで
# 『日本』の映畫

本日より向ふ一週間市內キャピトル劇場で「東洋の盟主・日本」のニュース映畫を上映、他にコルデット・コルバート主演映畫も上映される

## 日本人の堵列

昨日晩香坡から新西院へ御進行沿道たるキングスウエー方面にも日本人が相當堵列して兩陸下を奉送した

# ハナシの種

◇シテー・シニア野球リーグが觀衆が殺いどころから朝日を招んで每土曜夜リーグ對抗試合を行ふやう企てゐることは既報の如くであるが、バラード・リーグ側では今夜幹部會を開いて實現するか否や決定する筈だ、但しバラード側では氣乘薄らしい

◇皇后陸下でもやはりバウダー・パッフを常に御持參になつてゐるのをホテル・バンクーバーで新聞記者につきとめられた、滅多に御顏のなはしを人にお見せにならぬ皇后陸下も廿九日ホテルから午後の御巡行出發直前ホテルの窓際でしきりにお鼻やお顎の所にパウダーをお塗りになつて居られる所を見られたもので「矢張り皇后も婦人だ」と此の記者は報じた

# 本日より上映
# 『東洋の盟主・日本』
## マーチ・オブ・タイムの評判篇

▽イタリーにムソリニあり、ドイツにヒトラーあり果して日本には？　防共協定の日本の役割は！　日支事變の終局は？……日本の政治的情勢を描出せるものであると

コルデット・コルバート主演——
『イツツ・ア・ワンダフル・ウオールド』
# キャピトル劇場

◉健康相談　明晩八時より九時半迄日本人健康相談所（東ペンダー街四七四）にて診斷を行ふ尙今夜八時から下高原トクターの醫院でヂフテリアの最後の注射を行ふ

同胞の皆樣に
御滿足行く樣サービスする爲めに
特に
岡村美惠子孃
を雇入れて居ります

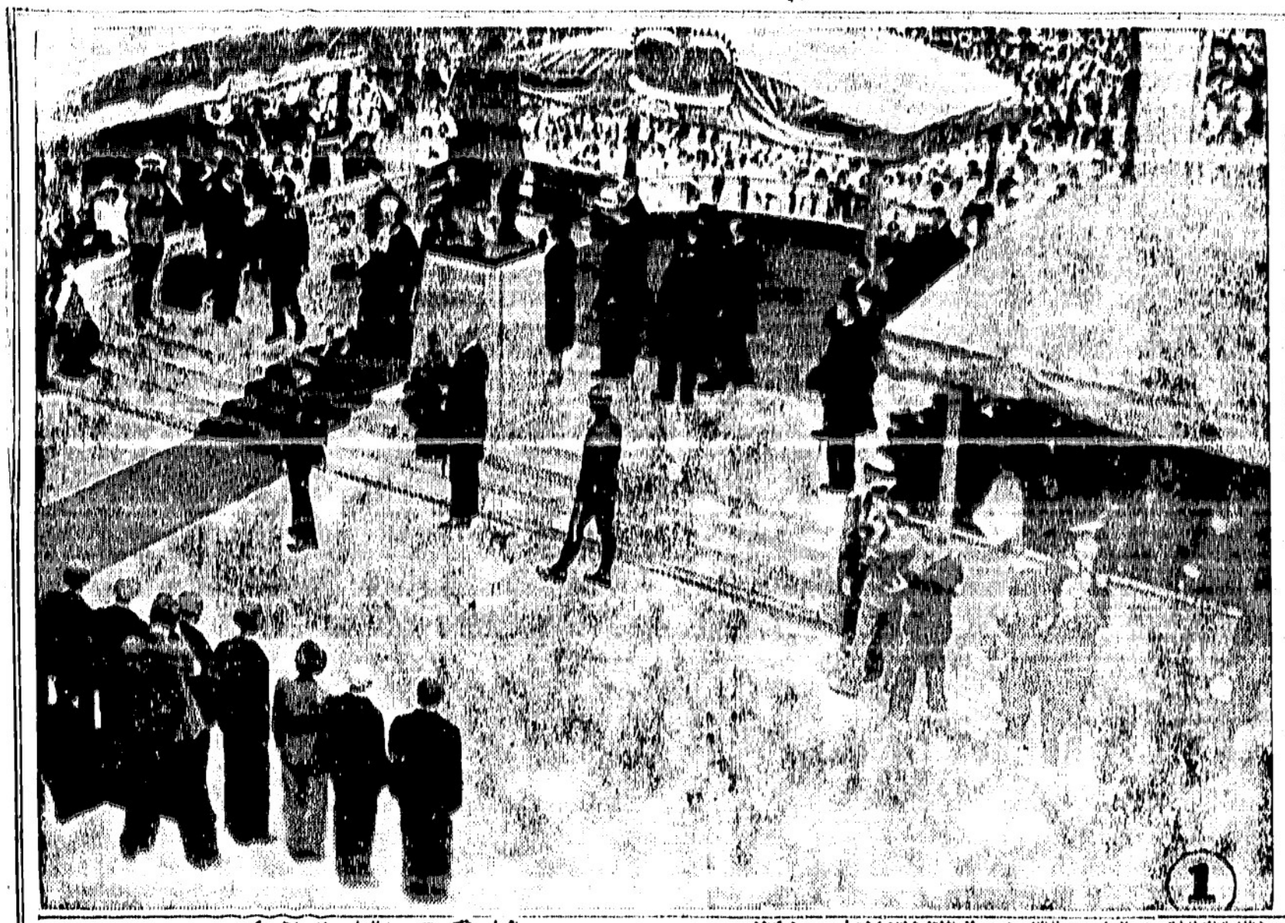
Manufacturers Life
マニュファクチャラース生命保險
晩市アレキサンダー街三〇二一　電話ツリ〇二八三
代理信夫保險事務所
日本人唯一の保險士　信夫三郎

晩香坡市バウエル街二六八
大勉強
杉山運送舍　舊天野運送
電話ツリニチ一三〇五九

◇寫眞機　一の御用命は是非共文化商會へ……各種お好みの品取揃へてあります
◇胃腸病治療と像防に……トモサン　一ヶ月分一、五〇
◇咽喉氣管支障害風邪治療像防に……大學吸入器及附屬藥品類
△フイルム各種
△現像燒付引伸
△ワタマンペン
△文房具小間物類
文化商會
バウエル街二五〇電話シー四〇八七

新着御案內
◉夏の味覺をそゝるもの
◎花樂久京漬　一瓶　十八仙
◎芽生姜紅漬　一瓶　二十仙
◎封じ梅　同　三十仙
◎小丸茄子辛子漬　一斤　廿五仙
◎切茄子辛子漬　同　十五仙
◎干梅漬（小田原）　同　廿五仙

週間特賣品
此機を逸せず御買上下さいませ
◎ハゼ佃煮　一斤　二十仙
◎花鰹佃煮　二斤　三十五仙
◎燒海苔　一罐　五十仙
◎マシ（オーツ）　一函　十五仙
優良品を最も安く
香村商店
バウエル街二六九　電話ツリニチ〇〇九二



# 滿蒙國境なほ騒がし
# 昨日も一戰を交ふ！
## 我方に損害なく敵の遺棄死体多數
## 外蒙軍死者七百とも云ふ

ハルハ河岸一日——滿蒙國境ハルハ河畔の我が軍隊は一昨一日午後三時頃敵は大擧ハルハ河畔より渡河して我が軍隊に對し猛烈なるクロシャガル附近に於ける我が軍隊に對し猛烈なる砲撃を加へ來つたので我が軍隊も之に應戰しつゝある外蒙軍は我が軍隊に對し反

# 女の教室

(48)

吉屋信子

(アドニス)とは、ギリシア神話のヴォナスの愛人、美少年の名——彼女たちが美男子の代名詞に用ひるグルッペ寺集まつた。

まつたく、そのアドニスにふさはしい、その美青年の士官は、桑下に八字髭をはやし、肋骨の細の警官の軍服姿を凛々しかつた。

官僚の下の助手には——(武助)探偵の二主任(長谷川警部、故歩兵中尉吉川紀元二)と顧されて——

明治三十七年日露戦ニ方リ

その第十三章には、明治三十七年戦役の露軍の降伏の、有名——彼女たちが美男子の代表のはでな飛鳥ズボンや軍帽がわつた。

「その帽の、ロシア士官つて、とてもお似合ひだつたのね」

藤雄は、いまさらにも、童大へそれを見に駆けつけたいやうだつた。

その若き士官の、美男インテリ青年士官の肖像は、女学生ル、殊ニ貴族学校大学ハ銅像ガ建ツ——像が建つて!」

「まあ、童大にも銅像があるんですつて!」

藤雄は、いまさらにも、童大へそれを見に駆けつけたいやうだつた。

その若き士官の、美男インテリ青年士官の肖像は、女学生の憧れの的だつた。

「その帽の、ロシア士官つて、とてもお似合ひだつたのね」

藤雄は、いまさらにも、童大へそれを見に駆けつけたいやうだつた。

「不は、ソ連になつてから、ちがよせう。スターリンなんてお止せ、伊達男に帰が寒さうですもの」

行雲子が言ふ。

駅室の入口には(出征兵士)と札がしてある。

そのすぐの壁に、日露戦役、日本の婦人【義人の墓】を建てて成れる、偉国の軍歌、聞かされた(軍歌)——国歌三番目は「月見草」といふのが、雪子ケースのなかに、くろんぼ、どろんぼ、どろんぼ、ど

# 虻道萬華鏡

（23）

津村京村作
篠塚悟平畫

二人侍の後(一)

視、そろそろ辺りに泥んでゐる様な物騒な雰囲気だつたのに、にも不拘、その覚面にしてぬつと大きな浪人者の現し方は野に育つた者だけな。

「ふ——御苦労、暫く待りやがつな！」

つた後の開け出して行つた間の彼方を一寸見透つてから、その巌く様な大きな浪人者は、刷毛に吸いな。それから彼は益に遠り

「抽手の奴を！」

「うん然うだつた。盗賊々々しちや居られねね。ヨア若旦、手が廻らぬ中に早く出掛けよう」

「待て。まだ一寸川があるんだ！」

さう言ひ乍ら、若旦は急に心附いた様に、倒れてゐる仮吉とお福の傍から、それ〳〵重大れを抜き取つた。

「何だ、まだ小判の物を取つてなかつたのか」

と奥村が傍らからいひかけた。

「——」

「あんまり他人の事をいへねなれでいきなり手が廻りやあお縄取らすの殺生だぜ！」

「——」

「おい若旦！いやに落着き拂つてるおやねねか。取る物を取つたら早く行かうぜ！」

「——」

若旦はまだ黙つて答へない。

「おい、どうしたんだよ」

「待てッ。まだ用があるんだ！」

「何だ、まだ用があるのか金度は何を取るんだ？」

「取るんおやねね。待つてるんだ！」

「待つてる間を？」

「ひやッ」と黒はすぶ氣味さう笑聲を漏した奥村銀藏！

「おい若旦、仮吉を殺つたのか」

「——」

「——」

二人とは一寸むこいな」

「そんな事を言へる柄か」

「ふゝん」とふると〳〵音をすゝめて一寸笑ひした奥村銀藏、ふと探し廻り始めた。一寸暗んで来た。大驛に立てやがるから直ぐ国手を廻して、その辺を暗い地面へすれ〳〵にして、そこら中度は泉中の奴等が皆んな起きて来やがる。仮吉を一刀に斬つて捨てたやがて彼は金の足、何か一つ手に当つた物を拾ひあげた。それは白刃が赤んな平凡に包んだ武人らしいものだつた。

「ふゝんしめたぞ！」

闇の中につと一つ氣味の悪い笑みを洩らすと、やがて彼はその無入れた懐いで自分の内懐に押込んだ。それから彼は、

「ちぇッ、奥村の奴め、何を愚々々してやがるんだらうな」

——と、一寸橋の上から跳かし見下ろいた。と、その背後の方から

「——」

「二人とは一寸むこいな」

「そんな事を言へる柄か」

「ふゝん」とふると〳〵音をすゝめて一寸笑ひした奥村銀藏、ふバクしてしまつたが、すると今度は泉中の奴等が皆んな起きて来やがつて

「ちぇッ、どんな野郎めッ！」

「まあ然ういふな——」

と言ひ乍ら、その奥村と言ふ方の浪人者が一寸若旦の方へ近寄らうとして、バッタリ足につまづいた仮吉の死骸！ッとして仰け反ると、今度は反対の方へ身を引くと、今度はぐにやり仰向の方の手を踏

◇通譯一般代理業
日本行船切符取次
濱岸事務所
アレキサンダー街三二四〇
電話ツリニ四三七四アール

◇ビルダー　サプライ
各種ランバー、シングル、ドアーウインド、ネール、セメント其他建築材料一切最も安価にて販賣いたします
尚住宅、鶏小屋、バーン等の請負を専門として居ります
電話或は郵便にて御通知下されば遠近に拘らず早速セールスマン出張の上見積値段運搬其他萬般御相談に應じます

ファンリッヂ製材會社
瀧本與次郎
ピーシー州ポート（ヘーヤード）ツランク・タウンライン（ネー七九）
ロード角　電話同一三五エル
自宅　同六八

小生儀過日右腕の骨を折り早速林醫士の診察治療を御願致せし所偶々一週間にて全治致し林醫士の折骨打撲に對し卓越なる技倆を推稱し感謝しました　林醫士は斯傷腫物筋痛挫骨疲膏病一切及神經痛、兒癇の疳等に獨特調製に依る藥は實に偉大の効力があり又打撲捻挫骨筋違い等には長らく經驗あり如何なる重傷にても迷ひに全癒する事は嚴く日本人間にも效知の通り若し右の樣な際は早速林醫士の來訪を御願する事を御勸め致します　特別に日本人を歡迎傳授し親切に治療致します

ステブストン　秋本重則妙醫
東ベンダー街九二一
電話シーモア二四九一

割薪値段

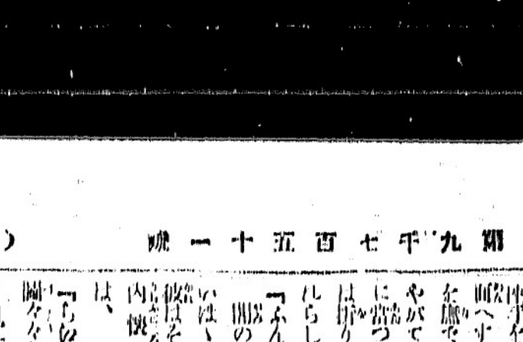
インサイドファー　ヒーターブロック
一コード　七、〇〇
同半　三、七五〇
同二等品　一コード　六、〇〇〇
同半　三、二五〇
同三等品　一コード　五、〇〇〇
同半　二、七五〇
御電話下されば早速お届けしますウツドランド街埠頭

ヒシー新商

電話　ハイ〇九一五
夜間　ハイ四四一三アール

B.C. WOOD & COAL CO.

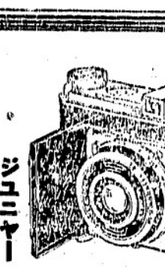
晩香坡市バウエル街三四〇
昭和倶樂部
電話シーモア四五三三
（事務所用）電話ツリニチ五五二二

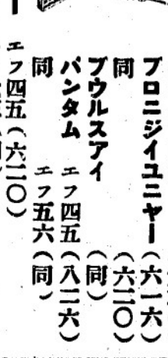


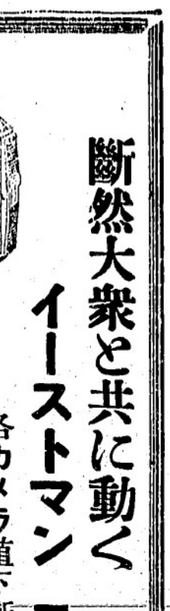
新築禮拜堂

△晩香坡一を誇る近代的内部最新一度御覽下さい
△御通夜、葬儀には無料にて御貸致します
△御數十人のお茶のサービス出來る別室の用意がしてあります
△葬儀には七人乘タキシー一臺無料提供
過去廿七年間の日本人各位の御愛顧に對ゆる深め最深のザービスを致します

料金は五十弗、七十五弗、九十五弗以上
晩市ダンレビー街三〇四
アームストロング葬儀社
電話ハイランド〇一四二









断然大衆と共に動く
イーストマン コダック
各カメラ値下斷行

| | | |
|---|---|---|
| | ニュープライス | オールドプライス |
| ベビーブロニー フイルム | （六二〇） | （六二〇） |
| ブロニジイユニヤー | 一、一〇 | 一、二五 |
| 同 | （六一六） | （六一六） |
| ブウルスアイ | 二、七五 | 三、二五 |
| 同 | （六二〇） | （六二〇） |
| バンタム | 二、四〇 | 二、七五 |
| 同 | （同） | （同） |
| ジユニヤー | 三、〇〇 | 三、二五 |
| セエニヤー | エフ六三（同） | 二六、〇〇 |
| 同 | エフ四五（同） | 一七、五〇 |
| スペッシャル | エフ四五（同） | 二四、二五 |
| レエチナ | （一三五） | 二一、〇〇 |
| デユオー | （六二〇） | 二七、五〇 |
| | | 三八、〇〇 |
| | | 五二、〇〇 |
| | | 五八、〇〇 |

其他各附屬品一切

晩香坡市バウエル街二四九　電話シーモア四八八四
Powell Street Vancouver, B.C.

誠心堂

寫眞　現像　燒付　迅速　美麗

現像燒付

晩香坡市バウエル街三六八
秋山金物店
電話ツリニテ〇二三七

大工道具

御祝用ケーキ
特に日本人向に調製致します
洋菓子類一切製造
晩市内は多少に拘ず配達します
バウエル街三四二
パウエルベーカリー
布田忍一
電話ツリニテ五五三一
住宅西第七〇街一一九八
自宅電ランガラ〇六〇七エル

シンガーミシン
日本人部代理人
堀七藏
西第廿街三五一
電話フエヤ一三八六エル

和洋御菓子
晩市バウエル街二三五
橫山菓子店
電話シー六九四一

◆魚類
◆肉類
◆青物類
◆カマボコ
◆和洋食料品
バウエル街二六二
茶木魚店
電話ツリニテ五五四二

御料理
日の丸
バウエル街二六六
電話シーモア三〇七九

ちり鍋、すき燒
ゴーア街一二八
玉川
電話ツリ四七九　アール

御料理すし　其他
バウエル街三六二
林家
電話ツリニテー三七〇〇

スキヤキ小料理
バウエル街參參〇
こまつ
電話シー一〇〇三

御料理
御會食に
御招宴に
ゼヒどうぞ
富士
電話ツリニ七〇六

晩市ゴーア一三〇
樂々
電話ツリ二七〇六

鮮魚肉類　野菜類
食料品一切
バウエル街三五三（三七四）
電話ツリニテー五七八四
自宅電話ハイ四九七九アール
スター魚肉店

晩香坡市バウエル街（三七八）
男女着類一切
澁谷商店
ツリニテー5525

男女子供靴一切
晩市バウエル街388
電話シーモア八六一九
加藤靴店
住宅　東カドバ街七九一　電話ハイ〇九二七エム

和洋雜貨　食料品
晩香坡市バウエル街五六六
西村商店
電話ハイランド一三七五

晩市バウエル街四六三
運送社へ
電話ハイ一五六六

高等南京料理
コックは斯道の腕さへで料理は皆様のお口に合ふやう
美味に調理　値段は大々的勉强
晩市バウエル街三八二
新南京樓
電話シーモア七八七五

超努力傑作揃ひのビクター新譜……御案内

◎戰線夜更けて　林　東馬　露營の星の下に　鈴木　正夫
◎望鄉夜曲　南　邦雄　戰線の春　波岡惣一郎
◎若き警備兵　鶴田　六郎　銃後の子守唄　能勢　妙子
◉日の丸音頭　勝太郎　市丸
◉愛馬進軍歌　德山四家

バウエル街三〇一　電話ツリ〇〇五五
ツランスフアー　電話スタストン二
大正堂

# 『我々は東京警備へ行く途中』

## 『抽廈は轉々・呆れた大ホラ！

【漢口通信】漢口は既に暑気の到来で、五月に入つて以来毎日照り続ける強烈な直射光は、鐘道のアスファルトを焼いて目玉焼も出来る程、八十五度、日外は百度を突破して百一度の日すらあり、夜間でも七十四度以下になることがないので、午前二時、三時まで眠ることが出来ない始末だが、今から此の暑さでは所謂「八ケ月戦闘訓練を受け緊張、浮つてゐる始末だ

### 漢口早くも百度に

### 凄い猛暑に皇軍の労苦

【漢口通信】漢口は既に暑気の到来で、五月に入つて以来毎日照り続ける強烈な直射光は、鐘道のアスファルトを焼いて目玉焼も出来る程、八十五度、日外は百度を突破して百一度の日すらあり、夜間でも七十四度以下になることがないので、午前二時、三時まで眠ることが出来ない始末だが、今から此の暑さでは所謂「八ケ月戦闘訓練を受け緊張、浮つてゐる始末だ